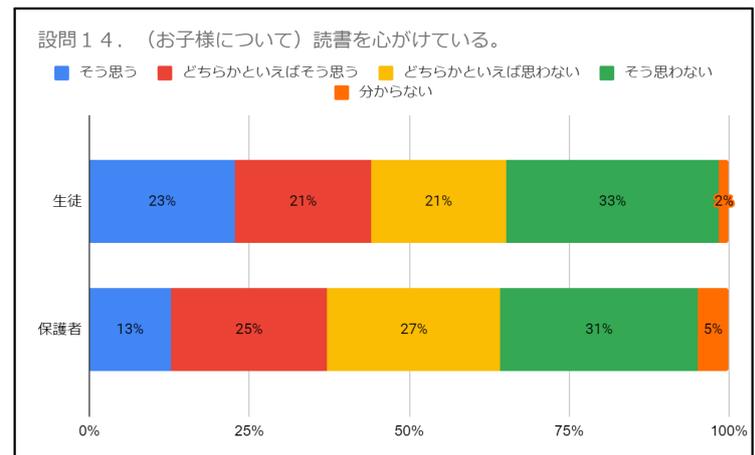
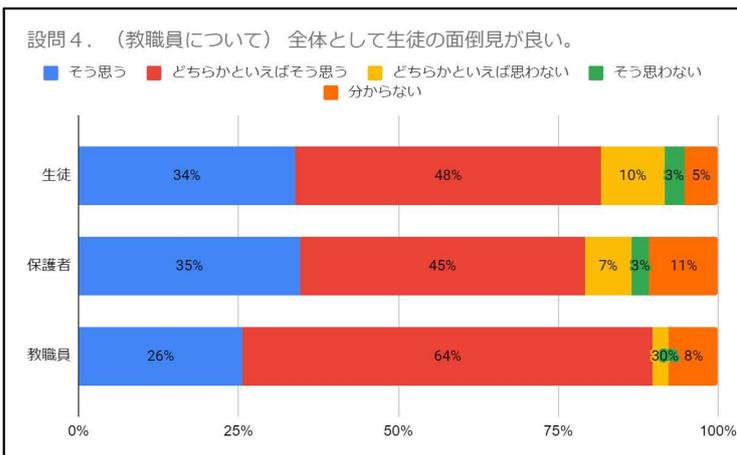
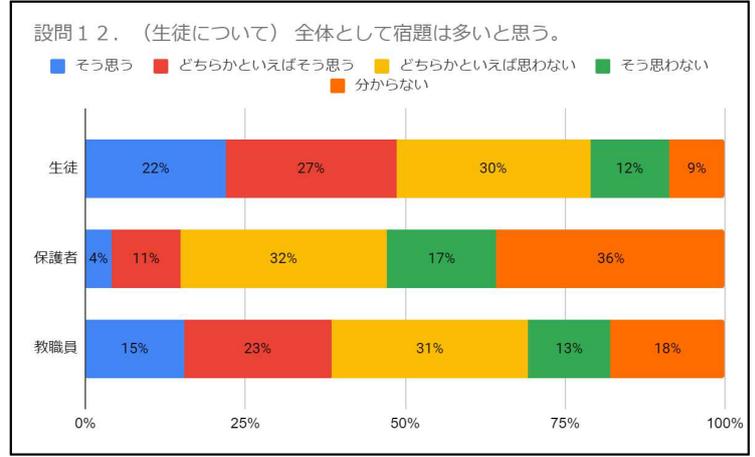
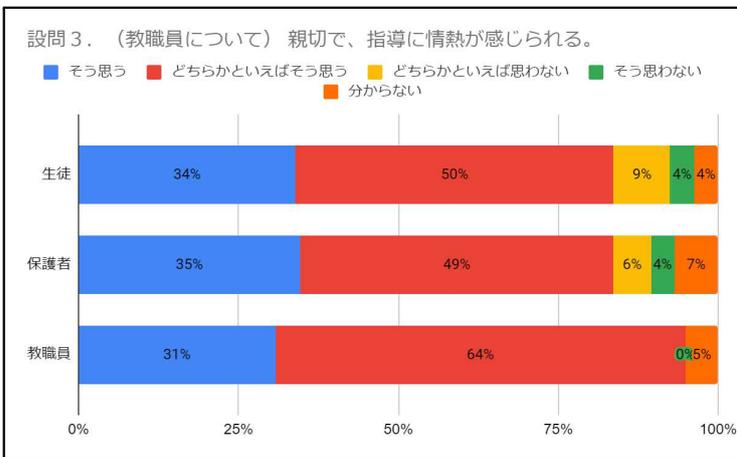
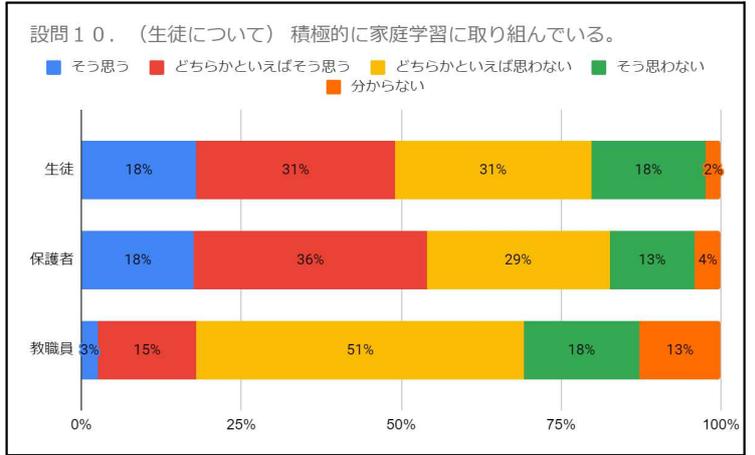
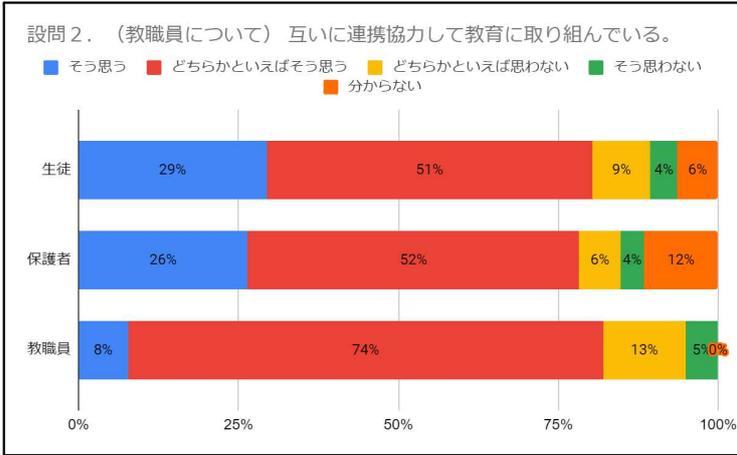
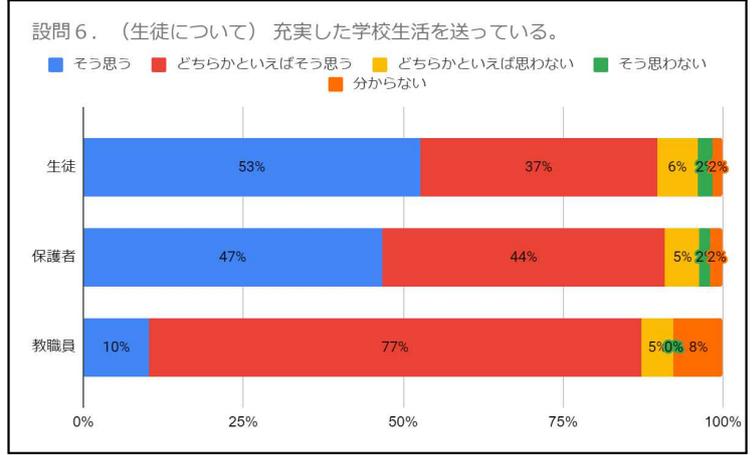
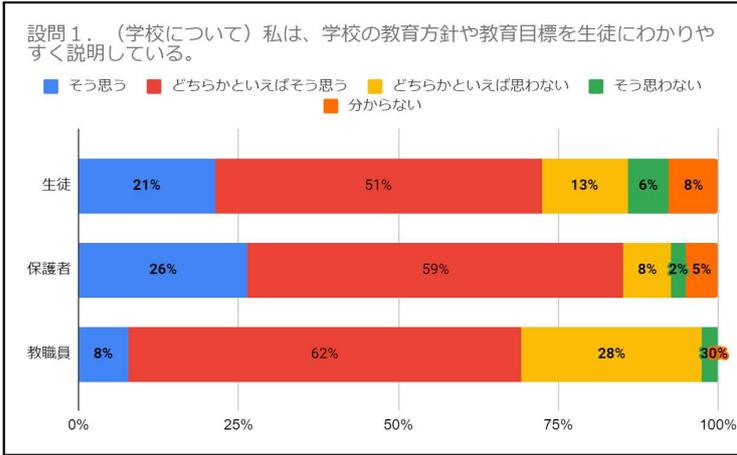


令和4年度

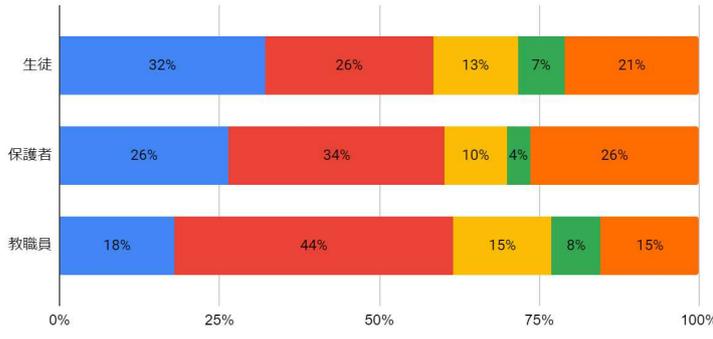
自己評価結果報告書
学校関係者評価結果報告書

令和4年度学校評価アンケート 集計結果一覧



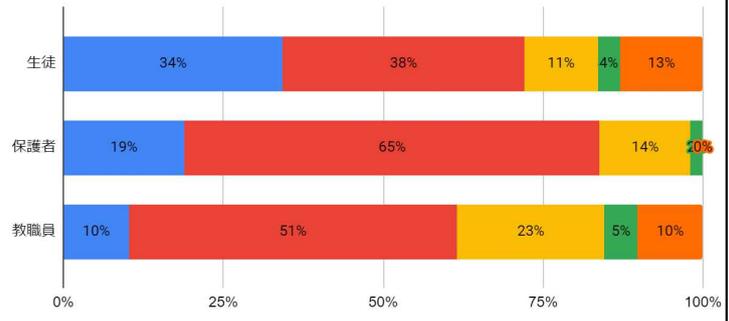
設問 1 5. 部活動（同好会を含む）の練習内容や練習量は適切である。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



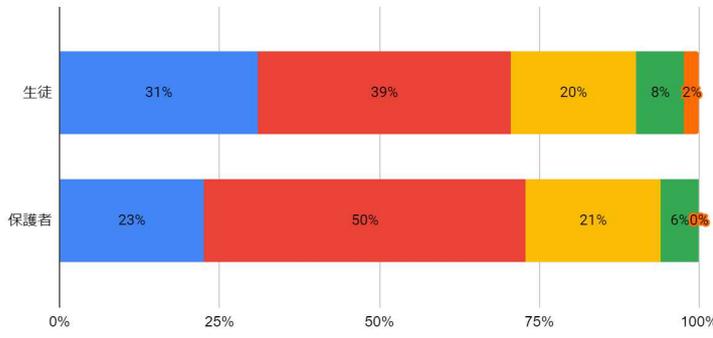
設問 2 1. (生徒指導について) 生徒主体の活動（ボランティアや生徒会等）は充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



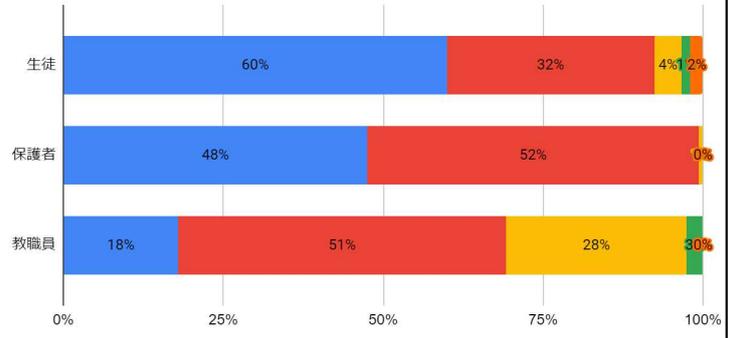
設問 1 7. (お子様について) 基本的な生活習慣が確立できている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



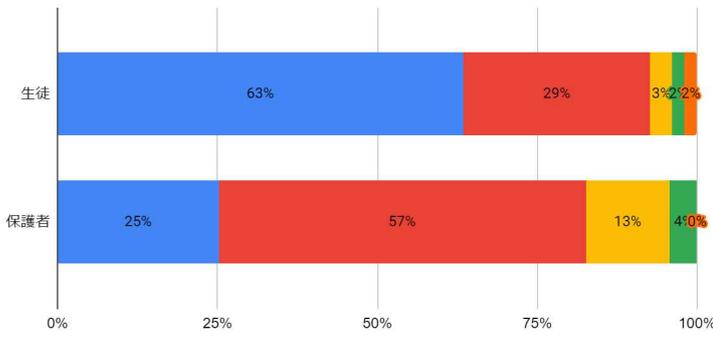
設問 2 2. (生徒指導について) 校内は清掃がよく行き届いている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



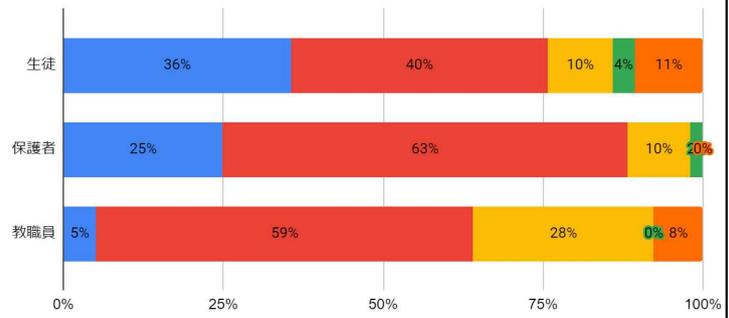
設問 1 9. (お子様について) SNSについては、適切に利用している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



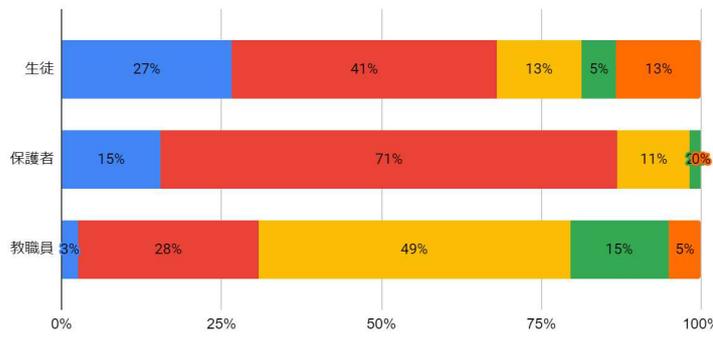
設問 2 3. (進路指導について) キャリア教育（社会的・職業的自律に向け必要な基盤となる能力や態度の育成のこと）は充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



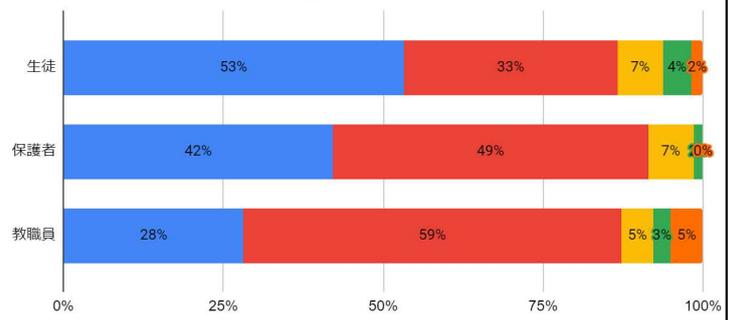
設問 2 0. (生徒指導について) 人権教育や道徳教育が充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



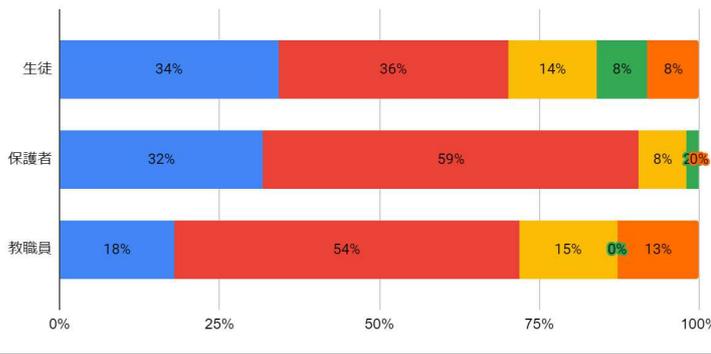
設問 2 4. (学校行事について) 学校行事（紫雲祭、紫紺祭、クラスマッチ、修学旅行等）は充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



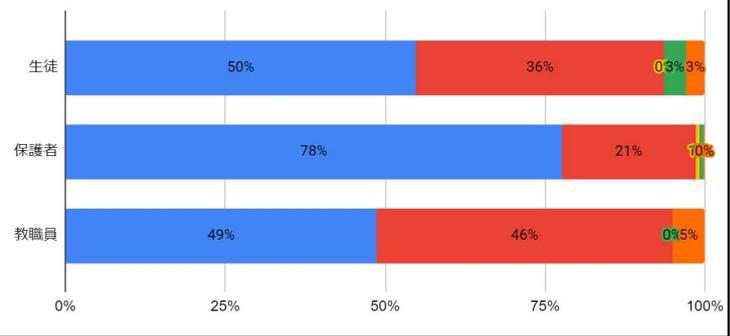
設問 2 5. (進路指導について) 対外模擬試験の実施回数は適切である。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



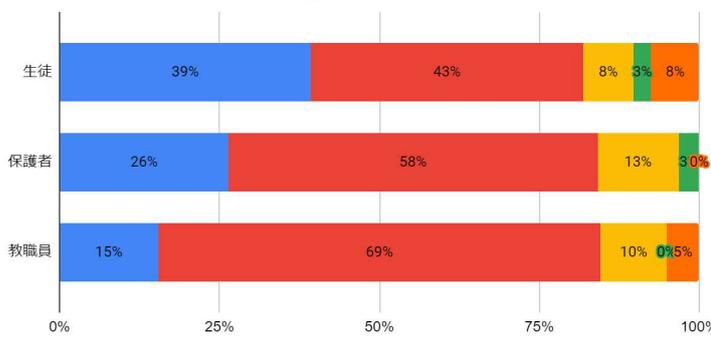
設問 2 9. (学校からの連絡について) Classiや一斉連絡メールは役に立っている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



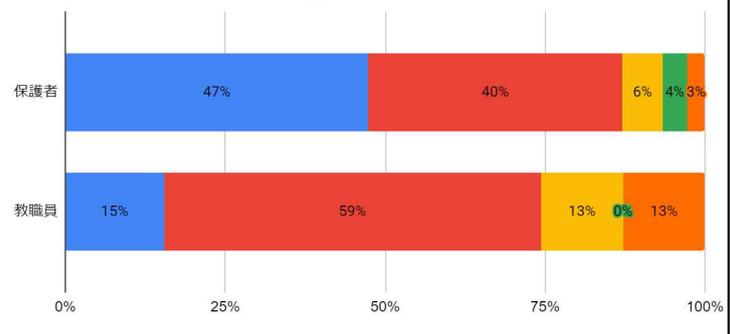
設問 2 6. (進路指導について) 進路・進学情報の提供は適切である。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



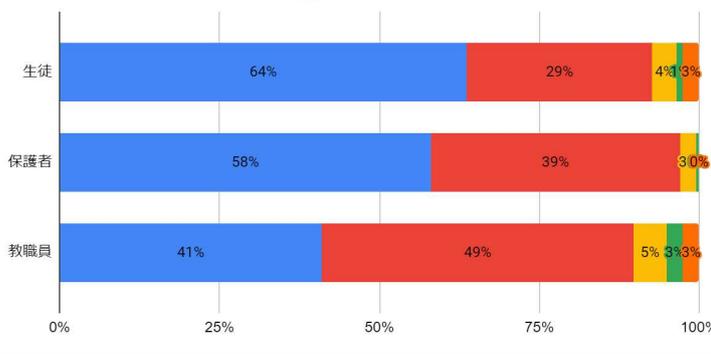
設問 3 0. (学年・学級について) 保護者への連絡(担任からの連絡、学級通信等)は充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



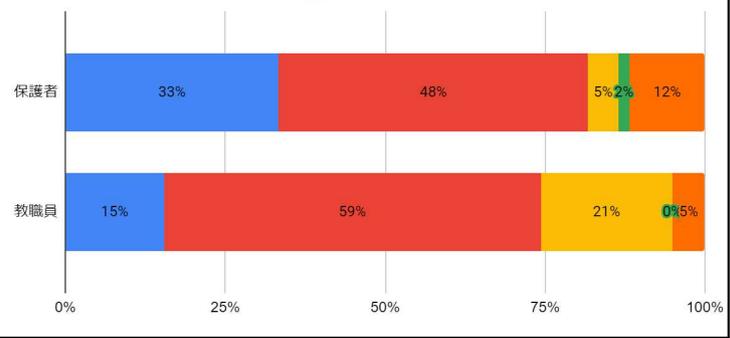
設問 2 7. (施設設備について) 施設設備(大学含む)は充実している。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



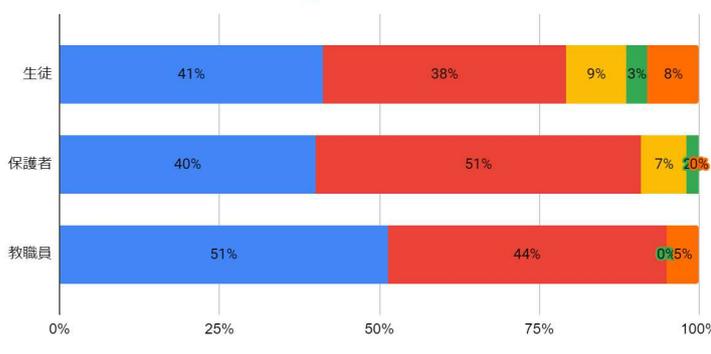
設問 3 1. (学年・学級について) 奨学会や保護者会(学級懇談会等)は適切に行われている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



設問 2 8. (施設設備について) ICT環境は充実している。

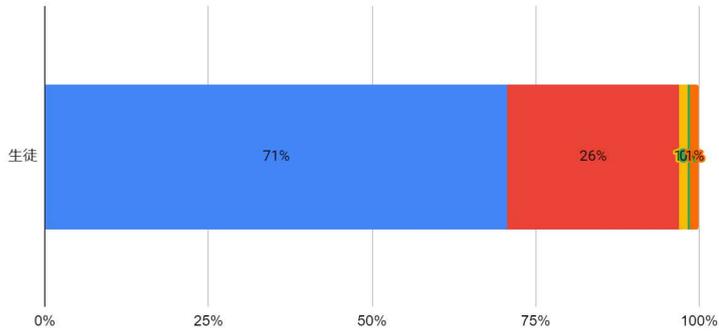
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



生徒対象設問

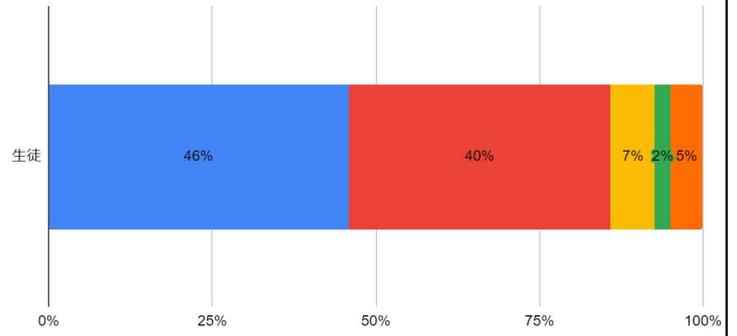
設問 生-①. (自分自身について) 交通ルールやマナーを守っている。

■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえば思わない
 ■ そう思わない
 ■ 分からない



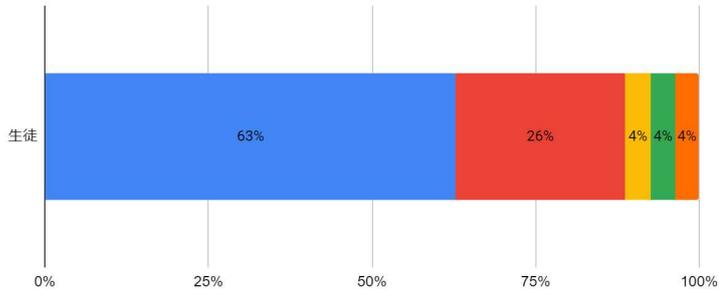
設問 生-⑤. (自分自身について) 気持ちのよい挨拶ができています。

■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえば思わない
 ■ そう思わない
 ■ 分からない



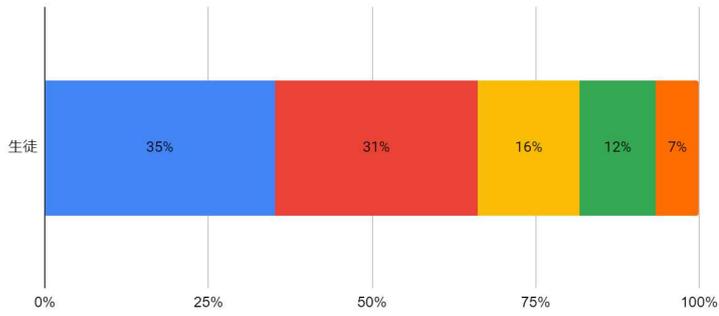
設問 生-②. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる家族がいる。たことや悩みを相談できる家族がいる。

■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえば思わない
 ■ そう思わない
 ■ 分からない



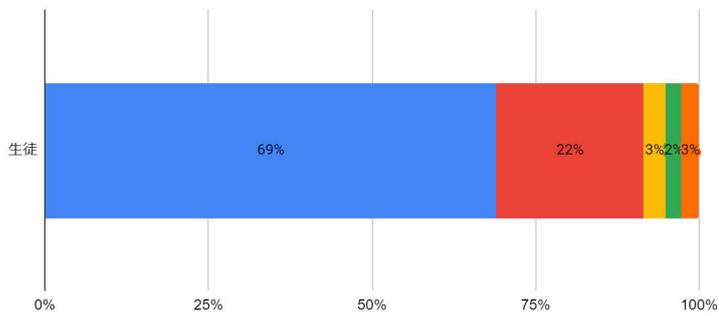
設問 生-③. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる先生がいる。

■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえば思わない
 ■ そう思わない
 ■ 分からない



設問 生-④. (自分自身について) 困ったことや悩みを相談できる友人や先輩がいる。

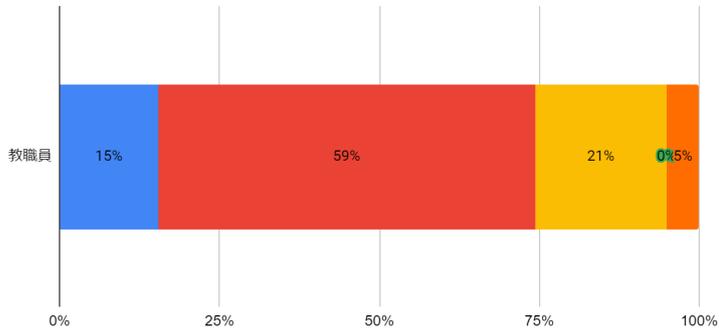
■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえば思わない
 ■ そう思わない
 ■ 分からない



教職員対象設問

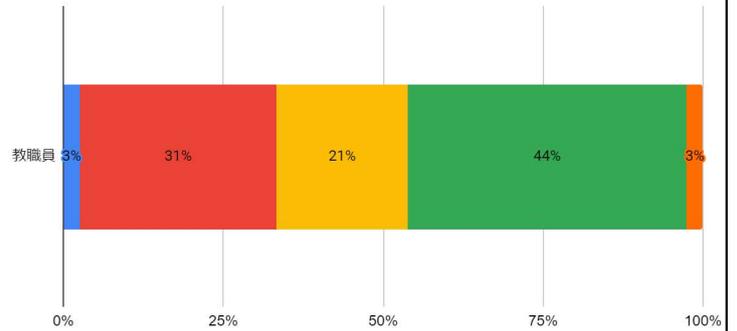
設問 教-①. (自分自身について) 勤務することを誇りに思っている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



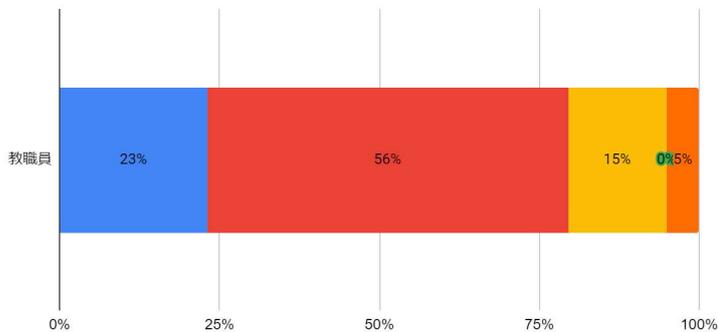
設問 教-⑥. (自分自身について) 私生活を含め、心にゆとりがある。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



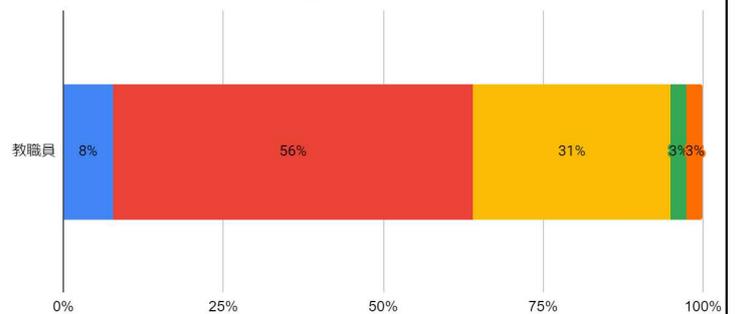
設問 教-②. (自分自身について) 授業改善に積極的に取り組んでいる。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



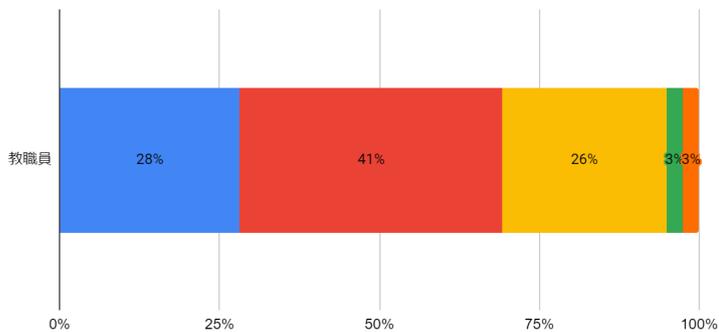
設問 教-⑦. (生徒指導について) 生徒は気持ちのよい挨拶ができています。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



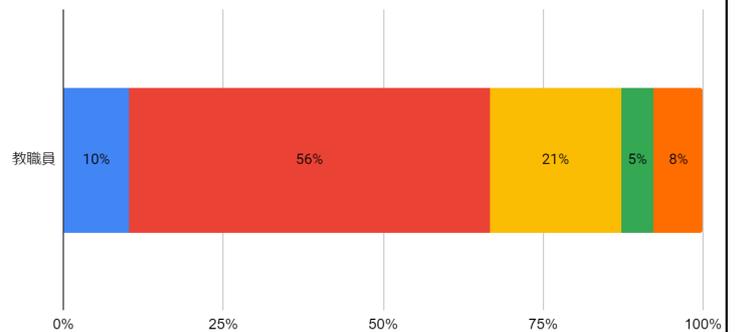
設問 教-③. (自分自身について) 自主的な研修や研鑽を行っている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



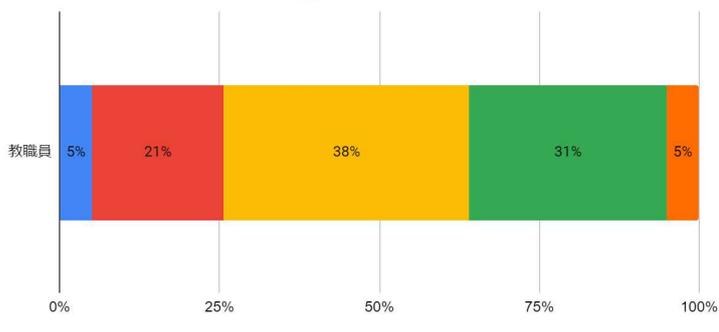
設問 教-⑧. (学校について) 組織的な対応ができています。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



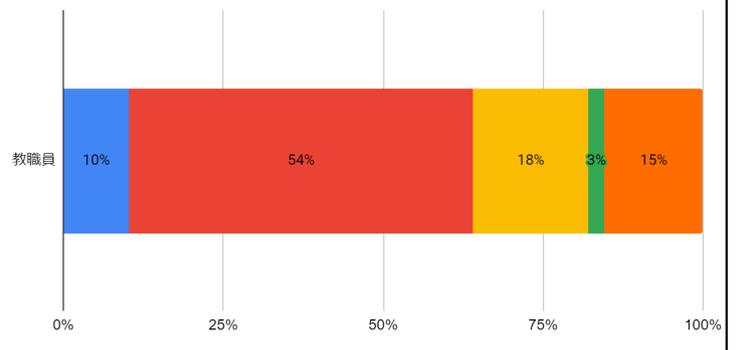
設問 教-④. (自分自身について) 仕事上のストレスはあまり感じていない。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



設問 教-⑩. (学校について) 本校は民主的な運営がなされている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



○学校関係者評価結果

- ・「ICT委員会」の設立や「保護者ボランティア」の導入などの検討
- ・設問内容の再検討
「私生活を含め、心にゆとりがある」ではなく、「充実している」等への変更。
「部活動の練習内容や練習量は適当である」も同様に、「適当」ではなく「多い」「少ない」など設問内容をより具体的にする。
- ・設問28「ICT環境は充実している」の教職員、生徒の回答の乖離について要因の追及。
回答した教職員が95%と高いのに対し、生徒が79%と低い。生徒はもっと学校のICT環境に対して求めているものがあるのかもしれない。
- ・学校として、生徒・保護者に対して積極的にオープンキャンパスへの早期参加を促すなど、「進路・進学情報の提供」をより積極的に行ってほしい。

○学校関係者評価結果を踏まえた、今後の改善方策について

今回の評価結果に対しても、評価委員の方々から更なる向上を目指すための貴重なご意見を伺うことができた。

アンケートの結果を見るとほとんどの質問に対して、肯定的な回答が否定的なものをかなり上回っている。また、昨年より、さらに肯定的回答のパーセンテージが伸びたものもある。これは、依然としてコロナ禍による学校生活への影響は続いてはいたが、感染予防対策のノウハウを学んだことにより昨年よりも実施できる行事や活動が多くなり、生徒の充実感が向上したことが原因だと思われる。

深学化プログラムも開始して3年が経過し、生徒達が取り組む課題もさらに多様化しており、それに応じて協力してくださる外部機関の幅も広がりを見せた。そのなかでも、食品ロス削減や、衣料廃棄物の削減に取り組んでいるグループはその活動が地元のほとんどのテレビ局で取り上げられるなど際立った活躍ぶりであった。また、こういった活動履歴は大学入試においても高い評価をいただくことが多く、進路面でも生徒へのメリットは大きい。

ICT教育についてはICT支援室を立ち上げ、様々な教員研修の機会を設けると共に、1人1台を導入した1学年に対して小テストや探究活動で利用を推奨し、それが実践へとつながった。これからは教師側の得意、不得意によって利用頻度に差が出てくれることも予想されるが、同支援室は次年度も様々な研修の機会を設けることを計画しており、ICT教育のさらなる推進に向けて全体的なレベル向上を目指していきたい。

大学の推薦入試受験者の増加により、特に3年担任の業務の負担増は顕著なものとなっている。その他の業務削減も遅々として進んでいないのが現状である。しかし教職員の働き方改革は教職員の心身の健康維持という観点から必須のものであり、外部委託などの新たな視点も加え、進めていかなければならない喫緊の課題だと捉えている。

生徒の皆さんにとって、本校での学校生活が楽しく、実りあるものとなるよう、また自身の将来を見通した、しっかりとした進路学習ができるよう、学習指導、深学化プログラム、進路指導、部活動といったあらゆる活動に関し、教職員間で情報を共有し、一丸となってサポートに努めていきたいと考えている。